

第 102 回番組審議委員会議事録

日時：令和 5 年 1 月 18 日（水）13 時 30 分～

場所：富士市民活動センター/コミュニティエフ（富士市吉原 2 丁目 10 番 20 号）

1. 委員総数 8 名
2. 出席委員数 5 名
3. 出席委員の氏名

稲葉美津江 委員長・土井一浩 副委員長・長橋順 副委員長・渡邊朱美 委員・
安藤滋 委員（順不同）

4. 放送事業者出席者名

小沢教司 代表取締役社長 山本茂放送局長

山本：本日はお越しいただきありがとうございます。今日は 102 回目の番組審議となります。それでは稲葉委員長から一言お願い致します。

稲葉委員長：新年最初ということで、今年もよろしくお願い致します。また、みなさんと楽しく審議していけたらと思いますのでよろしくお願い致します。

小沢：今日も出席いただきありがとうございます。コロナに加えてインフルエンザも流行っているということなので、体調に気をつけて過ごしていただけたらと思います。今日も忌憚のない意見をよろしくお願い致します。

山本：前は、富士宮市議会議員の仲亀きょうへい氏の番組を審議していただきました。彼は富士宮の若手のホープということで、番組でも富士宮市の PR を積極的に行っています。審議内容はラジオエフのホームページにも掲載してありますので、よろしければご覧ください。

番組審議

- ・審議番組「富士山女子駅伝2022 地元目線の副音声ラジオ」
- ・放送日時 令和 4 年 12 月 30 日（金）10：00～12：45
- ・出演 清水やすこ、保科紀子、片平有美
- ・番組編成制作方針、説明
- ・質疑応答

山本：今日審議していただく番組は、毎年やっている特番で富士山女子駅伝の応援番組です。駅伝の実況番組というより、スタジオでフジテレビのテレビ中継を見ながら駅伝の応援をする番組です。今年は金曜日の午前中の番組を担当している清水やすこさんとアシスタントの片平有美さん、そして、ラジオエフの中で最も駅伝に詳しく、トライアスロンなどもやっている保科紀子さんの3人で番組を放送しました。それではお聴きください。

約10分後

稲葉委員長：これより審議していただきたいと思います。みなさんいかがでしたでしょうか？

土井副委員：最初はBGMなしで2人の掛け合いから始まり、途中からBGMが入っていましたが、BGMが入ってからの方が聴きやすい印象でした。また、テレビを見ながらラジオを聴いていた人がどれくらいいたかは分かりませんが、実際にテレビの音声を消してラジオを聴いた場合、順位の報告など随所でしてくれているとありがたいと思いました。

安藤委員：約3時間の放送を10分程度に短縮した音源を聴いたので実際にどこまで触れていたのかは分かりませんが、地元の事にどの程度触れているか気になりました。例えば沿道がテレビ中継で映ったときに、「このお店の〇〇が美味しい」という情報をラジオで一言伝えることで、地元を盛り上げ、地方創生にも繋がると思いました。番組全体を通しては、アットホームな感じとスポーツ中継を合わせたような感じで聴きやすかったです。

長橋副委員：テレビを見ながら聴くのにちょうど良いと思いました。保科さんのしゃべりも上手く、専門的な話も出ていたのでそこが良かったです。また、清水さんのお話も上手くて掛け合いが良かったです。また、テレビの中継を見ずに車などに乗りながらラジオだけを聴いていた人は、ラジオのみの情報だけでどの位状況が理解できたかどうか気になりました。

渡邊委員：みなさんと同じように、2人の掛け合いがとても良くて、楽しい番組だったと思います。番組冒頭で富士山のことに触れていましたが、テレビに映った風景について「この辺から見る富士山の景色がいいですね。」というような情報がその都度入ると良いと思いました。また、最後に浜松出身の選手の話が出ていましたが、選手の情報があるとより応援したくなるので、そういう情報を入れることは良いことだと思いました。

稲葉委員長：実は実家がテレビに映るということで、実家の方からも連絡がありました。自分の知っている場所が全国のテレビに映るということはなかなかないと思うので、映った場所について話題に触れると聴いている人も楽しめると思います。

私自身はテレビ中継を見ていたので、ラジオで1区がまとまって走っていたという話題が出た時に情景が簡単に想像できたのですが、皆が皆テレビを見ながらラジオを聴いているわけではないと思うので、さらに詳しい情景の説明があると嬉しいと思いました。

何年か前から保科さんが放送に参加されていますが、保科さんは選手の気持ちが分かると思うので、アスリートの視点での解説があるのは説得力があって良かったです。

また、清水さんは話の展開を持っていくのが上手いので、聴いていて楽しかったです。

ちなみに、吉原商店街の内藤ゆうきさんが出ていましたが、他にゲストは出たのでしょうか？

山本：他には演奏家のライオンズさんという方が出演されました。

渡邊委員：駅伝に合わせて地元でおもてなしをされている人も結構いますよね。富士宮でも太鼓をやったり、コロナ前は沿道で待っている人に甘酒サービスをやったりもしていました。以前ラジオエフから電話で沿道の様子を聞かれたこともありました。

長橋副委員：ラジオだから出来ることだと思うので、そういった電話中継があっても面白いと思います。

小沢：ちなみにおもてなしに関しては、ラジオエフではいつもスタジオ前にいる方にカレンダーやグッズをプレゼントしています。

土井副委員：番組放送にあたってスポンサーがついているとありますが、スポンサー企業は増えているのでしょうか？

山本：新しくはじめる企業、辞める企業もありますが、トータルでは年々増えています。ラジオを聴きながら沿道で応援してくれている人も多いみたいです。吉原商店街でもラジオを聴きながら沿道に立っている人の姿を見ました。

長橋副委員：駅伝に関する放送をしているラジオ局はラジオエフだけでしょうか？

山本：リアルタイムで放送しているのはラジオエフだけだと思います。

長橋副委員：やはり保科さんのように駅伝を分かっていると、プロの視点からの話があったので説得力があるので良いと思いました。

山本：当初は、駅伝の実況中継をすることに権利上の問題や制約があり、試行錯誤をしながら放送していました。地元らしさということで、地元の話題を出しながらも駅伝の状況を伝える今の形になりました。

稲葉委員長：最初の頃は、本当にこたつに入りながらただしゃべるような番組だった印象でしたが、ここ数年保科さんが入るようになって「ちょっとした坂でも結構キツイ」などといった一般の人では分からないような、アスリートとしての意見が聴けて良かったです。

小沢：それでは、今日はこれで終わりたいと思います。次回は3月15日水曜日にありますのでよろしくお願い致します。今日はありがとうございました。